

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	鹿嶋市宅地耐震化推進事業（液状化ハザードマップ）（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鹿嶋市													
計画の目標	液状化ハザードマップを作成することにより，住民に液状化の危険性のあるエリアを周知すると共に，土地利用をする際や防災等に役立ててもらう。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R4末
1	液状化ハザードマップを公表することにより，住民自らが液状化の仕組みや危険性等の被害リスクを正しく理解し，事前の対策を行えるようハザードマップを公表する。 鹿嶋市における液状化ハザードマップの公表率	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	鹿嶋市	直接	鹿嶋市	-	-	宅地の液状化による変動 予測調査	液状化ハザードマップ作成	鹿嶋市						10		-	
												小計						10		
											合計						10			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿嶋市都市整備部都市計画課にて実施	令和5年 8 月
	公表の方法
	市ホームページにて公表及び本庁、出張所、各公民館等で配布 等
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	広く周知を図ったことにより市民や事業者から問い合わせがあり、液状化ハザードマップを配付。防災意識の向上が見られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
市民に広く周知しリスクコミュニケーションを図ることで、液状化被害の軽減と地域防災力の向上に努める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	液状化ハザードマップの公表率（％）		
	最 終 目標値	100％	
	最 終 実績値	100％	